

令和6年9月発行

第66号（令和6年度 第2号）

わくわく通信

【発行者】

特定非営利活動法人 わくわくネットいわき
〒970-8028

福島県いわき市平上神谷字神谷分 22-1

TEL 0246-57-0255

FAX 0246-57-0256

「障がいに対する反応の段階説」について

特定非営利活動法人 わくわくネットいわき

理事長 新妻 寿雄

病気に罹って4年の月日が過ぎました。最近、わくわくの駐車場の草刈りをしました。約200mを刈ることができました。しかし、右半身、特に右手の細かい作業と言葉の方が良くなりません。これについては、時間をかけて取り組んでいくしかありません。

病気になる、利用者さんの日々の大変さが更に解るようになりました。私は、中途障がい者です。今後の人生は、障がい者として歩むこととなります。つまり、私は健常者としての人生と障がい者としての人生の両方を体験しているということになります。

私のこの4年の経験をお話させていただきます。

1. 精神的ショックと混乱期

当初は、何がなんだか解らずただ病院の天井を見ていたことを覚えています。涙が止まらなかった毎日でした。

2. 障がいの受け止めと否認期

その後、やっと医師の診断や医療スタッフの説明に対して耳を傾けられるようになりました。しかし、「必ず治す」「大したことはない」等、現状を否認する気持ちが強くありました。

3. 希望と落胆期

リハビリテーションが順調に進む中で、言語訓練、機能訓練に成果を感じられることもでてきました。一日2回、午前、午後と自分自身でもプログラムを実施しました。しかし、自分が思った程の成果は上がりず気持ちに焦りがでたり不安がでたりしました。

4. 社会適応に向けての努力期と受容期

自分の身体のどこが使えて、どこが使えないのかを受け入れ残存機能を伸ばそうとしています。私の場合、右手が使いこなせないで左手を使う練習にも取り組んでいます。そして、その中で周囲の人々の理解と協力を得ながら社会の一員として生きていこうと思います。

私の友人が私に対して、「お前の話しが不自由なら、こっちが少しでも分かってあげられるように話を聞くよ」と言ってくれました。私にとっては、最大の励ましでした。

私は今、日々できる努力を続けていますが、毎日前進できる訳ではありません。そんな時は、休憩したり後退したりしてまた進んでいけば良いと思っています。

私のこんな経験を、わくわくの運営に役に立てられたら良いなと思いながら皆とともに頑張っていきたいと考える今日この頃です。

この通信をお読みくださっている方の中には、もっと辛い思いの方もおいでかもしれません。私は、そんな皆様方とも手を取り合っていきたいと思っています。これからもよろしく申し上げます。



Autism Caravans あちこちセミナーinいわき

令和6年度の研修・講演会は『Autism Caravans』のご協力のもと開催しました。Autism Caravansは、全国の自閉症支援者が集まり、自閉症の理解と求められる正しい支援を広め、次世代を担う支援者・指導者を養成するために横断的なネットワークとフォームを構築することを目指しています。昨年度もお世話になった自閉症eサービス全国ネット代表の中山清司先生が共同代表をつとめているご縁から今回の研修・講演会を開催することになりました。

6月21～22日の研修会では、中山先生をはじめ、川崎医療福祉大学の諏訪利明先生にお越しいただき、『自閉症支援者養成セミナー』を行いました。自閉症のお子さんたちに協力を頂き、実際に支援を行いながら自閉症の学習スタイルやアセスメント、自立課題の作成などを学ぶ研修会で、市内各事業所の支援者12名が参加され、幼児期と学齢期の2グループに分かれてお子さんたちに関わりながら学びを深めていました。

6月23日の講演会では、中山先生、諏訪先生に加え、横浜東部地域療育センターの阿部陽子先生を迎え、AutismCaravans主催で『あちこちセミナーinいわき』と題し、阿部陽子先生から『幼児期学齢期の療育と家庭生活への支援』、諏訪利明先生から『家族との連携について～親御さんに伝えたいこと、支援者に伝えたいこと～』、中山清司先生からは『卒業後の暮らしのイメージとその準備』について、それぞれお話しいただきました。こちらは、市内の保育、教育、保健、福祉などに関わる約150の方が参加されました。先生たちのお話はとても分かりやすく、また、ライフステージに沿ったお話であったため参加されたそれぞれの方が実際の支援についてもイメージをしやすいようでした。とても中身の濃い研修・講演会となり、また、先生方のあたたかなお人柄にも触れることができた3日間でした。

最後に、研修会、講演会ともにご協力いただいたAutismCaravansの皆さま、ありがとうございました。





自閉症支援者養成セミナー 2days 実践トレーニングに参加して

今回のトレーニングセミナーでは学童グループに参加させて頂きました。新しく学んだことは自立課題としての家事活動です。今回の家事活動では、絵カードなどの視覚的な支援を導入していました。視覚支援だけでなく、個々に合わせ、本人の強みを活かした支援を導入することで新しく学ぶ活動もスムーズに行うことができていました。今後の療育のなかでも、将来の自立に向け、家事活動につながるような課題や活動を考えていきたいと思います。

わくわくキッズ 渡邊詩織

あちこちセミナー in IWAKI を終えて

今回はじめて参加したあちこちセミナー。そこにはとても多くの驚きと気づきがありました。児童の特性と強みをどう見極め、どのような方法と方策で課題を提示するのか。

私たちのアプローチが変化することで、全く意図しなかった展開をしたり、驚くほどスムーズに解決することができたり…目まぐるしく変化をしていく様子を体感し、改めて私たちの「支援」の在り方一つで、こどもたちの「生きていく力」に大きな影響を与えることを実感しました。

セカンドハウスほっぷ 鶴沼紀夫

3日間の研修に参加させて頂き、モデルの方に合わせた課題作成では、アセスメントや視覚的な支援、再構造化の重要性を学びました。自分だけでは、アイデアが中々思いつかなかったのですが、グループワークを行う事でモデルの方に合わせた課題を作る事ができ、チーム支援の大切さを実感しました。また、自立課題では再構造化や視覚的な手がかりを増やすことで活動がしやすく、更に一人で出来るようになることで自信に繋がっていくことを感じました。

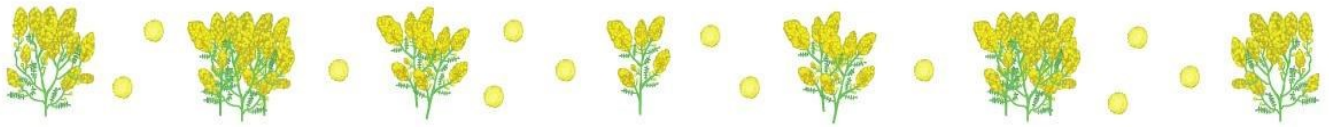
あちこちセミナーでは、家族との連携、支援方法、生活していく上での中止、変更の大切さを学び今回の研修で学んだ事を支援に活かして行きたいと思います。

チャレンジド 丹羽 裕美

今回の研修では、療育での活動や保護者様からの話を参考に課題を作成しました。個々の興味や関心があるもの、視覚的にわかりやすいものを題材にすることで課題に取り組みやすくなり、できない部分をアセスメントし再構造化することで「できる、できた」の達成感や自信につながることの重要性を学ぶことができました。

今後の支援では、生活スキルに役立つ課題を作成したり療育の活動にも取り入れて将来的に自立して活動ができるよう研修で学んだ事を活かしていきたいと思います。

ゆいまーる・ふくしま 片寄 弘美



保護者学習会

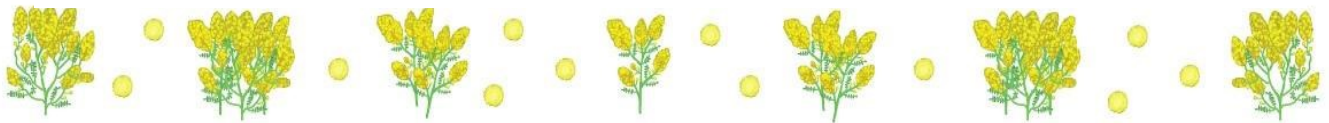
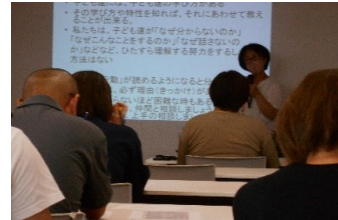
セカンドハウスわくわく 大内 亜希

去る7月13日（土）セカンドハウスわくわくの保護者様を対象に、保護者学習会を開催いたしました。

わくわくキッズ管理者・新妻陽子を講師に「学校生活を送る力とは・・・」をテーマにした「我が子について」や、「親御さんの思い・役割」などのお話でした。

事前に受け付けていた質問に対してのアドバイスもあり、参加された保護者様からは「子育ての参考になった」「子供との関わり方を改めて振り返ることができた」などのご感想もいただきました。

私どもも、日々の支援について、振り返るいい機会となりました。



新人職員紹介



7月から、ゆいまーる・ふくしまで勤務しています。高橋靖子です。

小さい子供達の支援は初めてなので、何を、どうすれば良いのか全くわかりませんが、職員の皆様にご指導頂き、少しでも早く仕事ができる様にしたいと思います。よろしくお願いいたします。

ゆいまーる・ふくしま

高橋 靖子

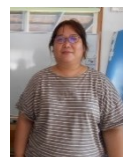


約2週間、法人内での研修をさせていただき、6月より本部事務に入りました。佐々木彩葉（ささきあやは）と申します。

福祉関係での仕事は初めてですが、皆様にご指導いただきながら頑張りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

本部事務

佐々木 彩葉

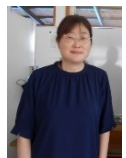


7月11日に入職しました永山です。研修では、不慣れな私を温かく迎えて頂きありがとうございました。

覚えることが沢山あって毎日ハラハラ&ドキドキですが、頑張りますのでよろしくお願いいたします。

本部事務

永山 貴美子





我が家の逸品

児童発達支援事業所
ゆいまーる・ふくしま

☆☆ 短冊をつくろう ☆☆

6月下旬に、制作で七夕の短冊作りをしました。
クレヨンや色鉛筆で、願い事や絵をかいたりシールで飾り付けをして可愛らしい短冊が
できあがりました。



完成した短冊は、願いが叶うようにと職員玄関に飾り付けをして展示しました。
風が吹くと、短冊がクルクル回ったりゆらゆら揺れてとても素敵な七夕飾りになりました。



有限会社 マルワ石油ガスさまより、法人へ3万円のご寄付をいただきました。
利用者様のために、有効に活用させていただきます。
ありがとうございました。





行事予定

◆ 法人共通

- ・福島県強度行動障がい支援者養成研修（基礎研修） 10/11（金）～10/12（土）
- ・福島県強度行動障がい支援者養成研修（実践研修） 11/15（金）～11/16（土）
- ・わくわくウォークラリー 11/2（土）

◆ 放課後等デイサービス セカンドハウスわくわく

◆ 放課後等デイサービス セカンドハウスほっぴ

◆ 居宅介護 移動支援 行動援護

◆ 児童発達支援センター わくわくキッズ

- ・わくわく広場 10/3（木）（4回目） 11/7（木）（5回目）
- ・避難訓練 10/21（月） 11/20（水）

◆ 児童発達支援事業所 ゆいまーる・ふくしま

- ・保護者学習会 9/28（土）

◆ 生活介護事業所 チャレンジド

- ・保護者学習会 10/19（土）
- ・避難訓練 11/8（金）
- ・おやつ作り 10/29（火）
- ・外出活動 11/28（木）

・避難訓練 11/6（水）



おねがい

- ・受給者証が新しくなりましたら、できるだけ早く事業所へご提示下さい。
- ・空き缶等のご寄付をいただきありがとうございます。

空き缶をご寄付いただく際は、お手数ですが軽く洗って袋に入れていただき、各事業所にお持ち下さい。

今後とも空き缶、ペットボトル、古いシーツ、タオルケット等のご寄付にご協力をお願い致します。

- ・事業所をご利用される場合は、持ち物にお名前をご記入くださるようお願い致します。

編集後記

暦の上では立秋を迎え、暑さの中にも秋の気配が感じられるようになってきました。

季節の変わり目は、体調を崩しやすい時です。バランスのよい食事・十分な睡眠・適度な運動で、健康管理に努めていきましょう。

今後ともわくわく通信をよろしくお願ひいたします。

知的障がい児者・自閉症児者の 発達障がい児者の方もご加入いただけるようになりました。

生サポは 家族の安心を支えます

- 日常生活に関する相談支援
- 権利擁護に関する相談支援

- 就労に関する相談支援

の3事業を実施しています。

主な補償内容

病気やケガで入院したとき 入院給付金	病気で死亡したとき 疾病葬祭費用保険金 ※プランによって異なります	虐待・逮捕・勾留に対処するとき 弁護士費用等補償 ※プランによって異なります
ケガをしたとき 死亡・後遺障害・入院・通院・手術・各保険金 (地震・噴火・津波によるケガも対象)	賠償責任を負ったとき 個人賠償責任補償	就労中に他人にケガをさせたり 物を壊してしまったとき 職業従事者事故対応費用補償 ※プランによって異なります

※上記は概要ですので詳細は下記までお問い合わせください。

特定障害者福祉団体傷害保険特約、弁護士費用等補償特約、職業従事者事故対応費用補償特約、地震・噴火・津波危険補償特約セット

保険のお問合せはこちら

■ 担当代理店・扱者
株式会社 ジェイアイシー 南東北支店
〒980-0804 仙台市青葉区大町2-3-11
レイトンビル7F
TEL: 0120-294-747(フリーダイヤル) FAX: 022-264-0081
受付時間: 午前9時～午後5時
(土・日・祝日・年末年始を除く)

■ 引受保険会社
AIG損害保険株式会社
https://www.aig.co.jp/sonpo
仙台支店
〒980-0811 仙台市青葉区一番町1-8-3 富士火災仙台ビル3階
TEL: 022-726-7551
受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

ご入会のお問合せはこちら

福島県知的障害児者生活サポート協会
〒960-8141 福島市濠利字七社宮111
福島県総合社会福祉センター
福島県手をつなぐ親の会連合会内
TEL: 024-573-5980 FAX: 024-522-7228

2024年1月現在の内容です。(D-007027 2025-03)

※記事や写真の掲載に関しましてはご本人様・保護者様の承諾を得ております。